

2. 習志野台地区の検討結果

(1) エリア全体の現状把握 (渋滞発生状況)

- ETC2.0プローブを用いて外周道路の渋滞状況も確認⇒外周道路での渋滞発生を確認。

20mピッチの速度モザイク図 (平日)



国道296号に接続する市道でも渋滞発生



国道296号で渋滞が発生

2. 習志野台地区の検討結果 (2) 当該エリアの課題と対策のコンセプト

当該
エリアの
課題

- 外周道路としての役割を担う2車線の**国道296号及び接続県道・市道において、常時激しい渋滞が発生。**
- 外周道路の渋滞を避けるために、**エリア内を抜け道利用している車が多く**、事故や急減速が多発。
- エリア内には**小学校も立地するなど、住宅が密集**し、自転車歩行者の利用も多く、交通安全に対するニーズが強いため、**対策要望が多く寄せられている。**
- H27年度に指定されたゾーン30により、路面標示等の対策は実施済であるものの、依然として、抜け道利用されている区間が多く、**効果発生が限定的**となっている。



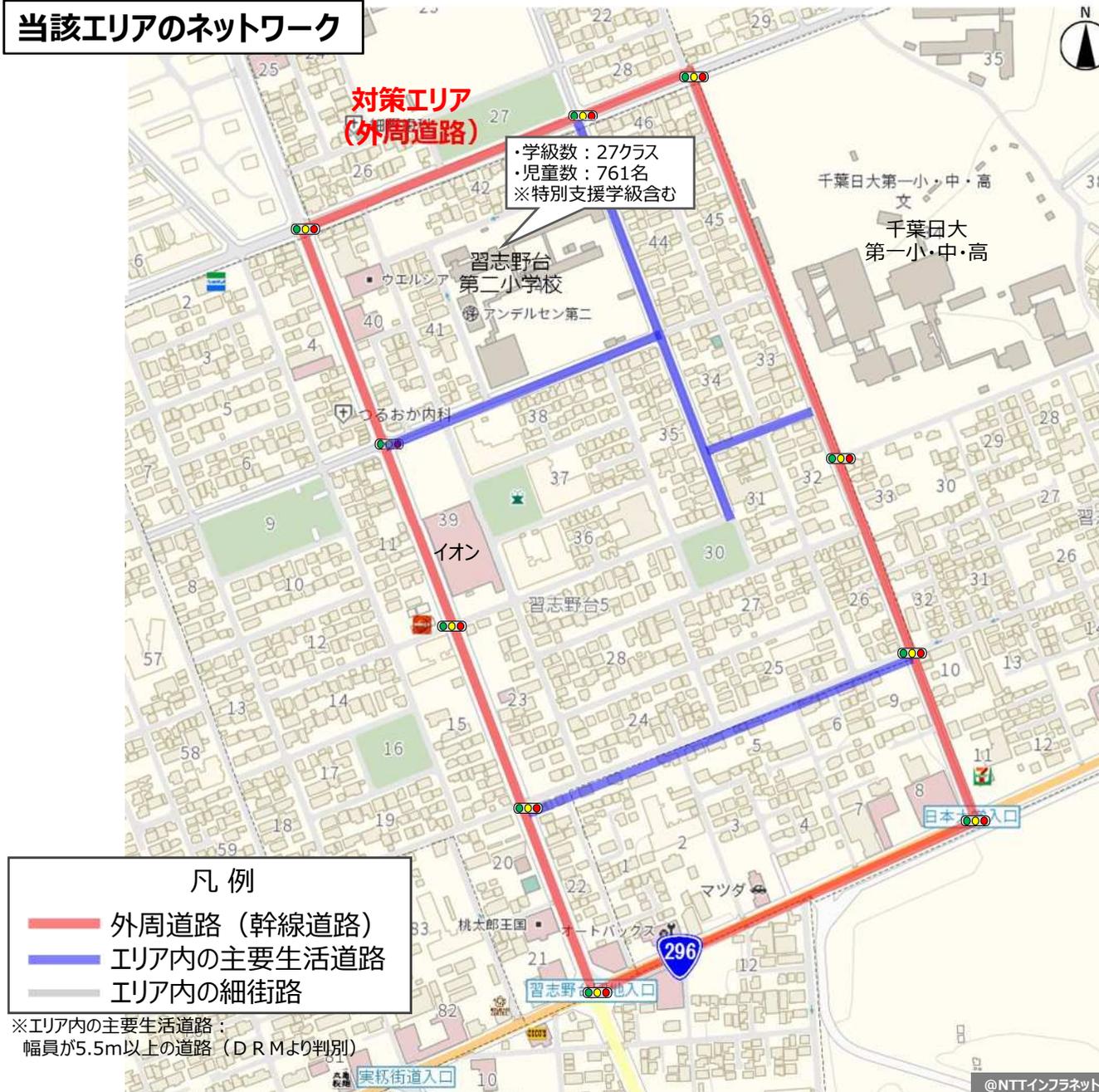
対応
方針

- ① **外周道路（幹線道路）** : 速度低下区間における**渋滞対策の推進。**
※通過交通を通行させるための地域の主要骨格道路
- ② **エリア内の主要生活道路** : 抜け道利用の多い区間を対象とした**速度抑止や注意喚起**に向けた対策の推進。
※エリア内の住民が外周道路（幹線道路）にアクセスするための骨格道路
- ③ **エリア内の細街路** : 抜け道利用の多い区間を対象とした**エリア内の進入抑制**や**速度抑止や注意喚起**に向けた対策の推進。
※沿道住民の利用する道路（通過交通抑制道路）
自転車歩行者を優先させる道路

分類	主な対策メニュー（案）
外周道路	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都市計画道路の整備促進（新規事業化に向けた検討あるいは要望の継続） ■ 渋滞発生交差点における個別改良（信号現示改良の検討）
エリア内の主要生活道路	<ul style="list-style-type: none"> ■ 物理的デバイス（交差点ランプ、入口狭さく 等） ■ 路面標示（カラー舗装、グリーンベルト 等）
エリア内の細街路	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交通規制（一方通行化） ■ 物理的デバイス（交差点ランプ、入口狭さく 等） ■ 路面標示（カラー舗装、グリーンベルト 等）

2. 習志野台地区の検討結果 (2) 当該エリアの課題と対策のコンセプト

当該エリアのネットワーク

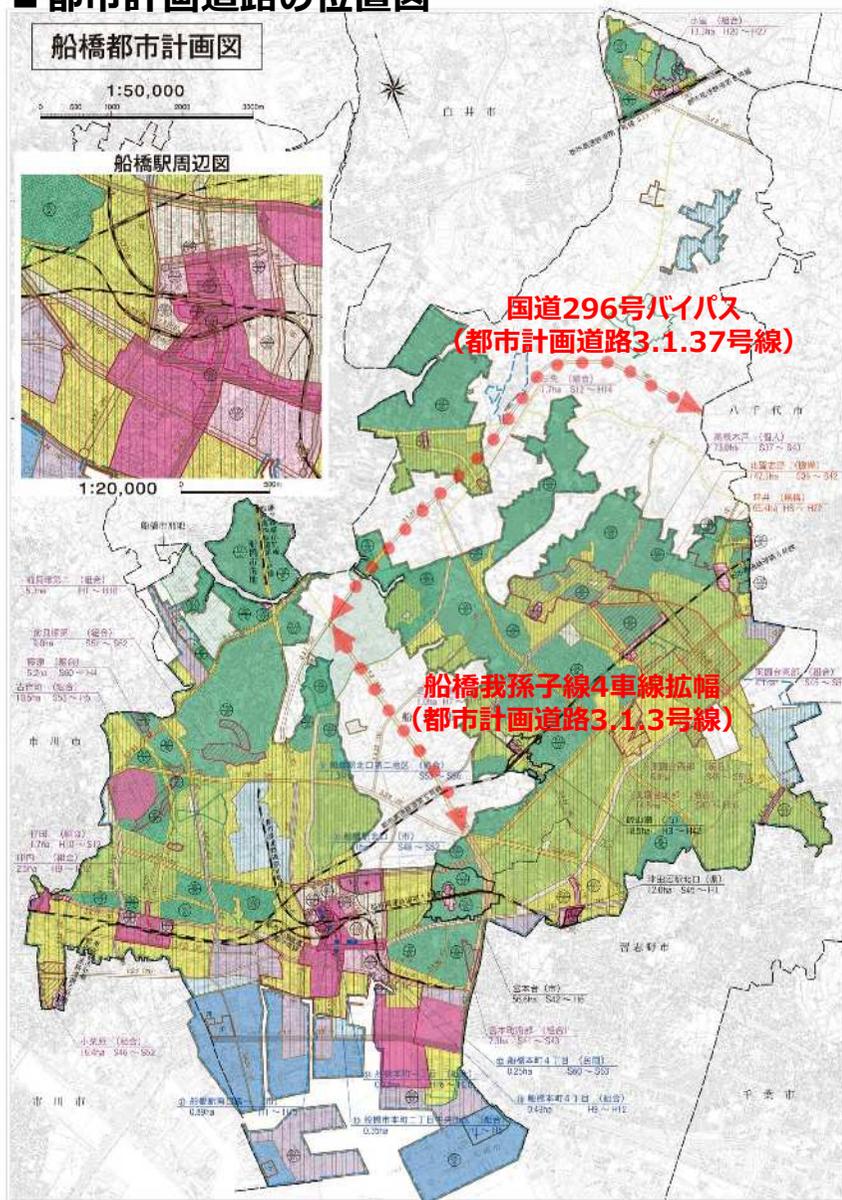


2. 習志野台地区の検討結果

(2) 対策のコンセプト (都市計画道路の整備促進)

- 外周道路の渋滞緩和に向けて、国道296号バイパス（都市計画道路）の整備促進を要望する。
- 今後、交通シミュレーションを実施し、同バイパス整備に伴う、習志野台地区の影響の検証を行う。

■ 都市計画道路の位置図

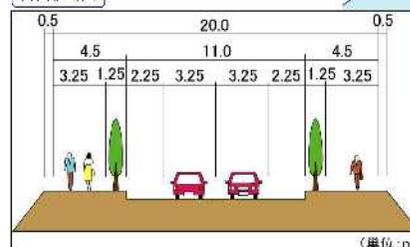


■ 国道296号バイパス八千代市区間の整備状況

計画の概要

区 間 さくらし じょぎ
 起点：千葉県佐倉市上座地先
 終点：千葉県八千代市米本地先
 延長 L=5.2km
 幅員 W=20m(2車線)
 道路規格 第4種第1級
 設計速度 60km/h
 事業着手 平成2年度
 全体事業費 約98億円

計画断面図



八千代市区間では
事業化し、一部区間
が供用済。



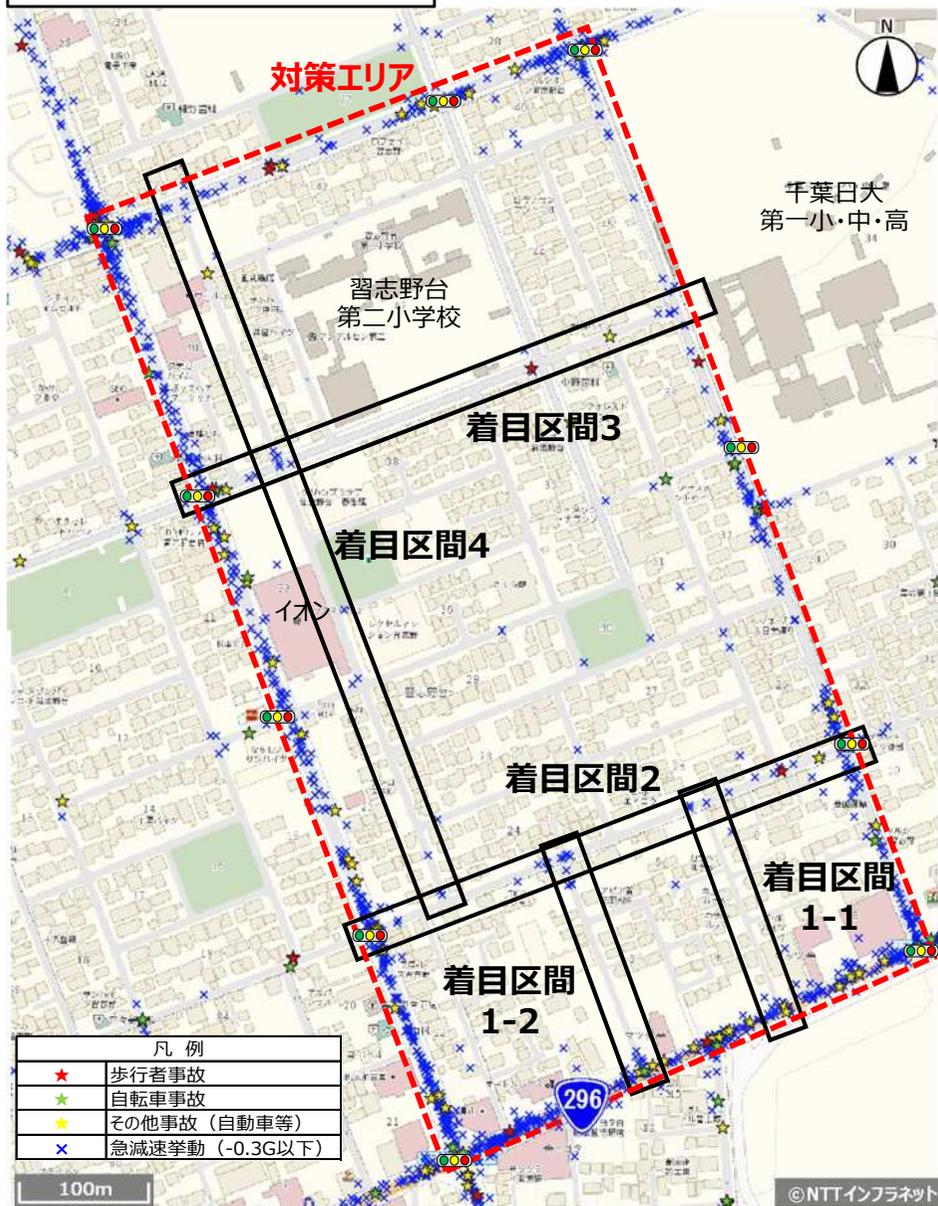
昭和56年度	都市計画決定
平成2年度	事業化
平成3年度	用地買収着手
平成12年度	工事着手
平成20年1月	4工区0.7kmが供用
平成24年3月	2工区2.2kmが供用

※出典：千葉県 県土整備部 公共事業評価監視委員会 平成24年度 第1回 会議資料

2. 習志野台地区の検討結果

(2) 当該エリアの課題と対策のコンセプト：着目区間の設定

事故・急減速発生状況



通学路の指定状況



※出典 事故：（公財）交通事故総合分析センター 交通事故総合データ（H27-H30）、警察庁公開データ（R1）
急減速：ETC2.0プローブデータ（挙動履歴：様式1-4）より算出（2019年9～11月の合計値）

2. 習志野台地区の検討結果

(3) 対策内容の具体事例：着目区間①

【着目区間1-1】

■ 事故・急減速発生状況



※) スマートフォンGPSデータによる推計値 (商圏分析サービス「KDDI Location Analyzer」による集計結果©KDDI ©GIKENSHOJI INTERNATIONAL CO.,LTD)

方針：「①交通規制による通過交通の抑制」「②走行位置の明確化による注意喚起・交錯の抑制」

■ 対策内容



2. 習志野台地区の検討結果

(3) 対策内容の具体事例：着目区間①

【着目区間1-2】

■ 事故・急減速発生状況

凡例	
★	歩行者事故
☆	自転車事故
☆	その他事故（自動車等）
×	急減速挙動（-0.3G以下）

事故発生はないが、起終点の交差点にて急減速が発生し、かつ通過交通が多い。地元からも通過交通対策の要望が挙がっている。



※) スマートフォンGPSデータによる推計値 (商圏分析サービス「KDDI Location Analyzer」による集計結果©KDDI ©GIKENSHOJI INTERNATIONAL CO.,LTD)

■ 対策内容

方針：「①交通規制による通過交通の抑制」「②走行位置の明確化による注意喚起・交錯の抑制」



2. 習志野台地区の検討結果

(3) 対策内容の具体事例：着目区間②

【区間1/2】

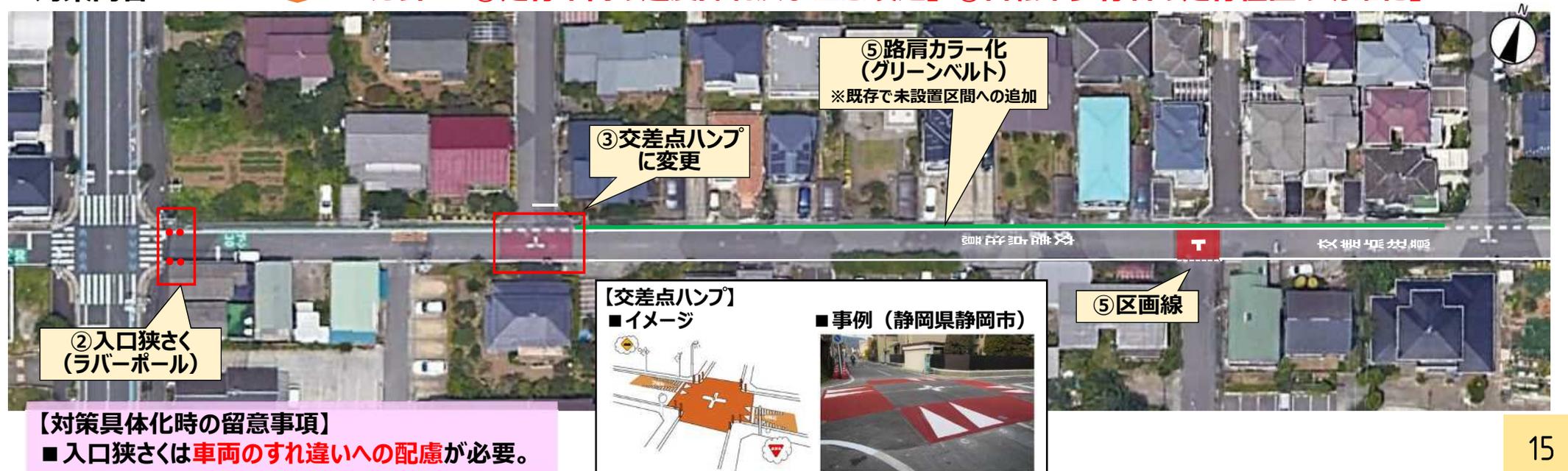
■ 事故・急減速発生状況



※) スマートフォンGPSデータによる推計値 (商圏分析サービス「KDDI Location Analyzer」による集計結果©KDDI ©GIKENSHOJI INTERNATIONAL CO.,LTD)

■ 対策内容

方針：「①走行車両の速度抑制及び注意喚起」「②自転車歩行者の走行位置の明確化」



【対策具体化時の留意事項】

■ 入口狭さくは車両のすれ違いへの配慮が必要。

2. 習志野台地区の検討結果

(3) 対策内容の具体事例：着目区間②

【区間2/2】

■ 事故・急減速発生状況



※）スマートフォンGPSデータによる推計値（商圏分析サービス「KDDI Location Analyzer」による集計結果©KDDI ©GIKENSHOJI INTERNATIONAL CO.,LTD）

■ 対策内容

方針：「①走行車両の速度抑制及び注意喚起」②自転車歩行者の走行位置の明確化」



2. 習志野台地区の検討結果

(3) 対策内容の具体事例：着目区間③

【小学校隣の信号なし交差点での対策】



【スムーズ横断歩道付き交差点ハンプ】

■ 事例（静岡県静岡市）



【当該交差点の現状】

写真①



写真②



【対策具体化時の留意事項】

- ハンプ設置手前へその**存在を予告するための注意喚起看板や路面表示の設置が必要。**
- 区間1/2（西側区間）の**交差点と主従関係が逆。**通学路対策として、「止まれ」を入れていることが想定されるため、**小学校や地域との意見交換や調整が必要。**
⇒可能な限り、**主従関係の整合性を図ることが重要（従道路側の幅員を狭小化が理想）。**
⇒今後、事故発生などが発生した場合は、**主従関係をしっかりと検討すべきである。**